

令和 8 年 9 月の大雨に関する河川整備の効果検証会議
議事概要

日 時：2026 年 9 月 30 日（水）午前 10 時から 11 時
場 所：愛知県本庁舎 3 階特別会議室
出席者：国土交通省中部地方整備局、名古屋地方気象台、愛知県
別紙「出席者名簿」のとおり
傍聴者（WEB）：別紙「傍聴者名簿」のとおり

議事概要

1 開会挨拶（愛知県：江口副知事）

- ・本年 9 月 8 日から 9 日の大雨について、名古屋では 1 時間降水量 104.5 ミリを観測し、1890 年の統計開始以来の最大値を更新した。
- ・国と県は、2000 年 9 月の東海豪雨以降、庄内川、新川、天白川において抜本的改修を短期間で実施するなど河川整備を着実に進めてきた。
- ・今回の大雨では、内水対策施設も被害軽減に寄与しており、その機能を十分発揮するためには、排水先となる河川の流下能力が確保されていることが不可欠。
- ・東海豪雨後に進めてきた河川整備により河川の流下能力が向上し、河川水位が抑制されたことが、浸水被害軽減につながった。
- ・近年、水害が激甚化・頻発化する中、今後の治水対策においては「流域治水」を一層推進していくことが重要である。
- ・浸水被害を軽減する上で、河川の流下能力を向上させることは治水対策の根幹であり、引き続き河川整備を着実に進めていく必要がある。
- ・本会議は、今回の大雨に対して、これまで進めてきた河川整備がどのような効果を発揮したのかを検証するために開催するものである。

2 議題

（１）東海豪雨の降雨と被害状況

愛知県より資料 1 に基づき説明

（２）東海豪雨後に進めてきた主な河川事業の概要

愛知県より資料 2－1 に基づき説明

中部地方整備局より資料 2－2 に基づき説明

愛知県より資料 2－3 に基づき説明

（３）9 月 8 日大雨の降雨と被害状況

名古屋地方気象台より資料 3－1 に基づき説明

中部地方整備局より資料 3－2 に基づき説明

愛知県より資料 3－3 に基づき説明

(4) 河川水位による河川整備の効果の確認

中部地方整備局より資料4-1に基づき説明

愛知県より資料4-2に基づき説明

(5) 効果検証の方向性及び今後のスケジュール

愛知県より資料5-1及び資料5-2に基づき説明

<主な質疑>

愛知県：資料4-1に記載されている庄内川における河川整備の効果では、具体的に水位低減効果を算出しており、県として非常に参考になる。直轄河川では出水後に水位低減効果をどのように検討し、迅速な公表につなげているのか、その手法について教えてほしい。

中部地方整備局：国土交通省全体として、出水後は速やかに水位低減効果を含めた事業効果を分かりやすく発信することに取り組んでいる。

具体的には、各地点における水位と流量の関係式を用いて今回と過去の時点の水位を比較することにより効果を算出している。

また、必要な情報や様式をあらかじめ用意しておくなど、早期に効果を算出できるよう体制を整えている。

中部地方整備局：日光川放水路や青木川放水路のように、水系内の洪水を他水系(木曽川)に放流する治水対策は中部管内においても珍しい。また、地蔵川のポンプ場も非常に大きな効果を発揮したと考えられる。河道掘削や堤防整備などに加え放水路やポンプ場の整備も浸水被害軽減に大きく寄与している。

愛知県：地蔵川排水機場や日光川放水路などの河川事業の事業効果を少しでも早く公表し、今後の事業推進に繋げたい。

3 閉会挨拶（中部地方整備局：高畑河川部長）

- ・9月の大雨には東海豪雨以来の規模であり、時間雨量は東海豪雨を超える104.5mm/hを記録し、約3時間で200mm強という未曾有の出水であった。
- ・東海豪雨以降、国・県・自治体が連携し、激特事業などを中心に進めてきた河川整備の成果が、今回の出水で発揮されたと認識している。
- ・今後の検証について、本日は概略的な効果説明だったが、次回はシミュレーションにより、効果をより定量的に「見える化」する方向で進めたい。
- ・気候変動による激甚化、頻発化する水害に対応するため、ハード整備だけでは防ぎきれない災害に対しては、流域治水の考えのもとにソフト対策も含めて被害の軽減に取り組んでいるところだが、着実にハード整備を進めることは依然として重要である。
- ・この検証会議を通じて、ハード整備をしっかりと進めるため、引き続き関係者と連携しながら治水対策を進めていきたい。

第1回 令和8年9月の大雨に対する河川整備の効果検証会議
出席者名簿（敬称略）

日 時: 令和8年9月30日(水) 午前10時から

開催場所: 愛知県本庁舎3階特別会議室(WEB併用)

団体名	所 属	役 職	備 考
国土交通省 中部地方整備局	河川部	局長	代理出席 河川部長
		河川調査官	
		地域河川調整官	
		河川計画課長	
		河川計画課 課長補佐	
		地域河川課長	
	庄内川河川事務所	地域河川課 課長補佐	
		所長	
		副所長	
		副所長	
	流域治水課長		
名古屋地方気象台	次長		
	水害対策気象官		
愛知県		知事	代理出席(挨拶) 副知事
	建設局	局長	
		治水防災対策監	
	河川課	課長	
		担当課長	
		課長補佐	
	尾張建設事務所	所長	
	一宮建設事務所	河川整備課長	
	海部建設事務所	流域調整監	

第1回 令和8年9月の大雨に対する河川整備の効果検証会議
傍聴者名簿（WEB参加形式・敬称略）

日 時：令和8年9月30日（水）午前10時から

開催場所：愛知県本庁舎3階特別会議室（WEB併用）

団体名	部署名	役職
名古屋市	緑政土木局河川部 河川計画課	部長
		企画調査課長補佐
		事業調整課長補佐
		流域治水課長補佐
一宮市	建設部治水課	課長
		専任課長
		専任課長
		課長補佐
		課長補佐
		主査
瀬戸市	建設課	課長補佐
	維持管理課	係長
春日井市	建設部河川排水課	担当主査
	上下水道部上下水道経営課	課長補佐
津島市	都市整備課	統括主任
		主事
稲沢市	建設部治水課	主幹
清須市	建設部土木課	参与
		次長
		次長兼課長
	危機管理部危機管理課	主事
北名古屋市	都市整備課	課長補佐
あま市	建設産業部土木課	課長補佐
豊山町	産業建設部建設課	主事
蟹江町	総務部安心安全課	次長
		係長
飛島村	開発部	次長

13 団体

28 名